



あんずだより



特別号⑩

保育

☆☆☆病児保育室ってどんなところ？☆☆☆

病児保育室と聞くと、具合の悪い子どもたちが横になって過ごしている病院のような雰囲気想像されるかもしれませんが、実際はそうではありません。お熱が高くても遊びたいのが子どもです。病気だからといってずっと寝て過ごしているわけではなく、個々の発達や症状に合わせた遊びをしながら、お子さんが無理なく過ごせるよう保育看護を行っています。もちろん、遊ぶ元気がなく一日横になって過ごす子や、元気だけど動くと咳が出てしまう等、安静の指示が出されるお子さんもいます。そういった場合には、個別で対応するなどお子さんが安心して一日を過ごせるように工夫しています。



☆あんずでのあそび・看護・睡眠・食事について☆

あそび

個々の発達レベルや病状に合った遊びを提供しています。おもちゃは沢山あり、室内で安静に無理なく遊べるよう、絵本や折り紙・ぬりえやパズル等々充実させています。ポポちゃん人形やおままごと、ブロックやプラレール、小学生のお子さん用にジェンガやドミノ、カード遊び、DVD や本も用意しています。



看護

あんずには看護師が一名常駐しています。医師の指示で吸入や吸引を行ったり、子どもの状態把握やバイタル（呼吸、心拍数、酸素飽和度など）チェック、お薬の管理を行っています。



睡眠

だいたい 12 時～15 時頃までがお昼寝の時間ですが、病状や年齢によって時間はまちまちです。



お子さんが眠たい時に眠れるよう、環境を整えています。病児保育室は異年齢保育なので、小学生～0 才児のお子さんが同室になることもあります。その場合、空き部屋があればそちらで 0 才児の睡眠を確保し、空き部屋が無い場合は小さいお子さんが寝ている間、大きなお子さんには静かに DVD を見て過ごしてもらいます。

食事

お食事の提供はしていないので、お弁当やおやつ・飲み物をお家から持ってきて頂きます。手作りだけでなく、レトルトの物でも大丈夫です。電子レンジがありますので、温めることが出来ます。病状によっては無理に食べさせることはせず、様子を見ながら、食べられるものを食べられる分だけにしていきます。



発行：2021年9月3日 病児保育室あんず

